

富山から発信する 学術研究とSDGs対応

学術講演会第1部では、富山大学が発信する世界トップレベルの脳科学研究と、和漢薬による認知症予防研究を紹介する。第2部では学術研究とSDGs対応の観点から、講演とパネルディスカッションを行う。近年、気候変動に伴う災害が世界各地で発生し、温室効果ガス排出量も増加している。温暖化や気候変動対策として、エネルギー消費構造の変化、CO₂削減、都市の低炭素化などへの対応が求められている。富山には、水深1,000mの富山湾から標高3,000mの立山連峰があり、その中に海洋、沿岸、都市、里山、森林、高山などを有し、地球環境の縮図モデルと捉えることが可能である。富山湾でも、気候変動に伴う生物群や水循環の変化が生じており、その現状を学術的に把握し課題解決方法を考察することが、富山から日本及び世界に向けた問題意識と課題解決を発信することとなる。さらに気候変動の課題解決法として、クリーンエネルギーの開発や、富山市が進めるコンパクトシティ政策は、モデルとなる可能性がある。これらの観点からの講演と幅広い参加者によるパネルディスカッションを通じ、SDGs対応の情報共有と課題解決を考える機会を提供する。

PROGRAM

13:00
16:15

- 1 開会挨拶 齋藤 滋 (富山大学長)
- 2 学術講演会 【司会】森 寿 (科学者懇談会幹事・富山大学大学院医学薬学研究部 教授)

第1部 学術研究：脳科学と和漢薬

- 13:05▶13:35 1. 記憶の神経科学的実体 井ノ口 馨 (富山大学大学院医学薬学研究部 教授)
- 13:35▶14:05 2. 和漢薬を基盤とした神経疾患治療薬開発 東田 千尋 (富山大学和漢医学総合研究所 教授)
- (休憩 20分)

第2部 学術研究とSDGs

- 14:25▶14:55 1. 気候変動と富山の水循環 張 勁 (日本学術会議連携会員・富山大学大学院理工学研究部 教授)
- 14:55▶15:25 2. クリーンエネルギー開発 椿 範立 (日本学術会議連携会員・富山大学大学院理工学研究部 教授)
- 15:25▶15:55 3. 富山市の取り組み 本田 信次 (富山市政策監)
- (休憩 20分)

16:15
17:15

- 3 パネルディスカッション 【モデレーター】堀田 裕弘 (富山大学大学院理工学研究部 教授)
気候変動対策の課題解決と地方創生、地域の活性化、学術の貢献(地方学術会議の意義を含む)について議論します。
【パネラー】張 勁 (日本学術会議連携会員・富山大学大学院理工学研究部 教授)
椿 範立 (日本学術会議連携会員・富山大学大学院理工学研究部 教授)
山極 壽一 (日本学術会議会長・京都大学総長)
本田 信次 (富山市政策監)
寺西 雅幸 (クラリアント触媒(株)取締役テクニカルセンター長)
上口 勇三 (前 富山市自治振興会連絡協議会副会長)

- 4 閉会挨拶 戸田山 和久 (日本学術会議中部地区会議運営協議会委員・名古屋大学大学院情報学研究科教授)

富山大学 五福キャンパス 黒田講堂ホール 定員 500名



2019年 6月28日(金) 13:00
17:15

参加人数把握のため、事前申し込みをお願いします。メールまたはFAXにて件名を「学術講演会参加」として、下記富山大学研究振興部研究振興課宛に「代表者氏名」、「所属」、「参加人数」をお知らせください。なお、当日受付も可能ですが、事前に参加をお知らせいただくと幸いです。(下記メールアドレスの※印を@に変えてお送り下さい)

URL: <http://www.scj.go.jp/ja/area/index.html>

■日本学術会議中部地区会議事務局 (名古屋大学研究協力部研究支援課内)
TEL: 0 52-789-2039 FAX: 0 52-789-2041

お問い合わせ > ■富山大学研究振興部研究振興課
TEL: 076-445-6387 FAX: 076-445-6033

E-mail: kenshin※adm.u-toyama.ac.jp
電話、FAXまたは電子メールで6月24日(月)までに上記へお申し込み下さい。(当日受付も可)

主催：日本学術会議 / 共催：富山大学 / 後援：富山県、富山市

〒930-8555 富山市五福3190番地 代表電話 076-445-6011

市内電車 ■ JR富山駅から約15分
「富山駅」停留所から2系統(大学前行)乗車約15分
「大学前」停留所下車後徒歩約5分

バス ■ JR富山駅前 富山地铁・路線バス
「富山大学経由」(3番のりば)乗車約20分
「富山大学前」バス停下車すぐ

タクシー ■ JR富山駅から約15分 富山空港から約20分